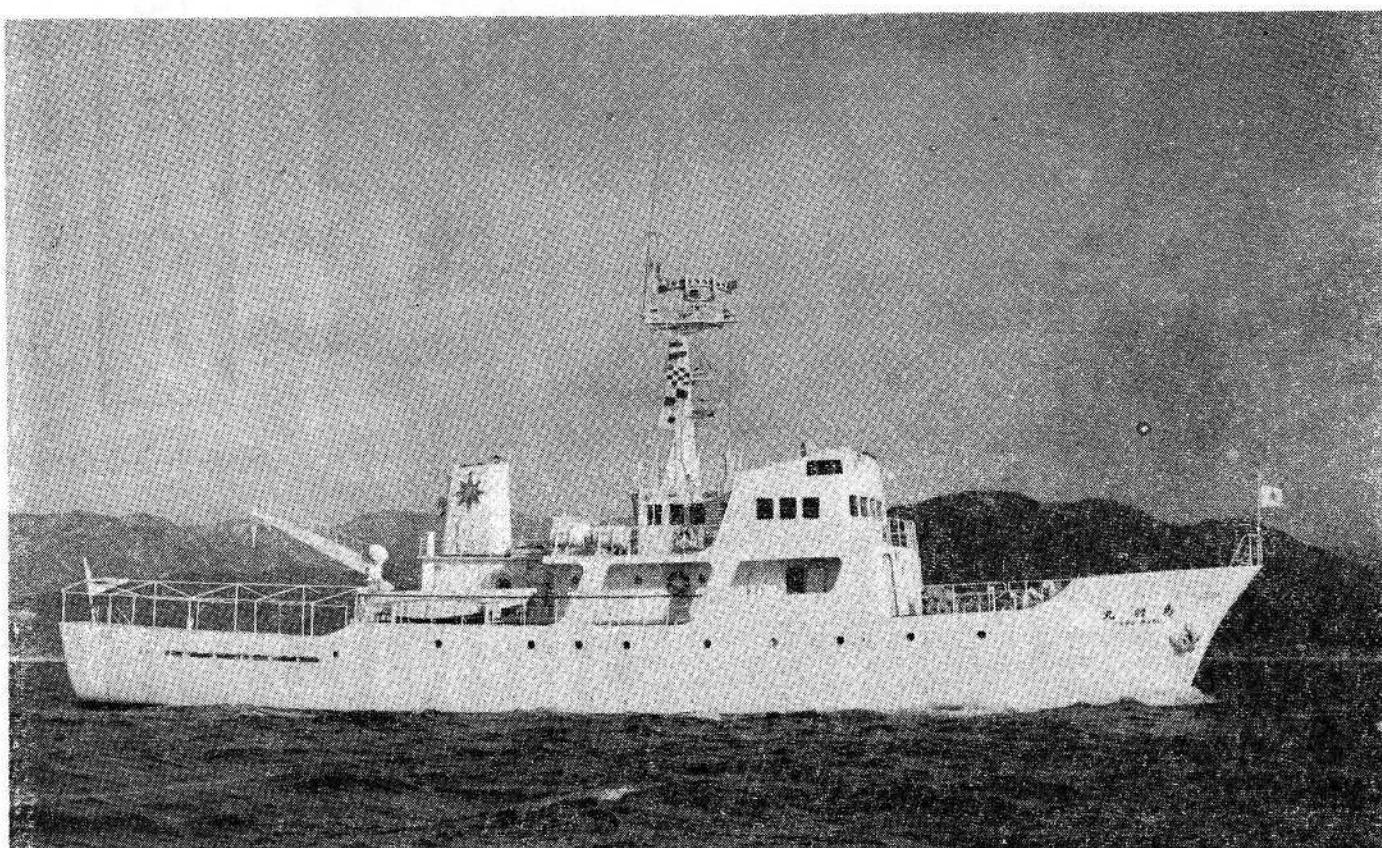


行 所
三重県鳥羽市池上町1の1
鳥羽商船高等専門学校内会
電話 (05992) 5-3137
郵便番号 517
製 作
神戸市生田区海岸通3(海岸ビル)
海 交 社
電話 (078) 33-2481~3番

(写真は鳥羽丸)



国民に大々的な損害を与えてい
る。

戦後二十数年の偏向教育の成果
が、今日の大学生から高校生にも
及ぶこの暴挙であるとするならば
全くあきれたものである。

公害対策などと称し、煙突を高
くしばい煙の拡散希釈がはかられ
快適な生活環境をとの願いに反
し、ますます公害が大きくなつて來よ公
害になって來ることで、

青い空、きれいな水を、そして
国も地方公共団体もいよいよ
い害対策行政に本腰で取
組むことになつて來よ公
害た。

公害という言葉は、英米
法のパブリックニューサン
ス(公的不法妨害)から来て
いると思われるが、今日い
うところの公害もさること
ながら、もともと大き
な公害があると私は考えて
いる。即ち教育公害!!これ
こそ公害の最大なものでな
いかと?....

少し静かになつたが、あの大
学生の暴力沙汰、学内では教室や
講堂などを不法占拠し、貴重な教
育施設を損傷し教育資料を破壊焼
却するなど、外に出では警官派出
を運行不能におとし入れ、目に余
る革命的暴力の限りをつくし国家
所を襲い市街戦を演じ、交通機関
行政対策としての公害防止の進
め方も大いに積極にしてもらいた
いと同時に私のいう教育公害対策
にも格別の配慮を大いに希望して
已まぬ。

教育公害

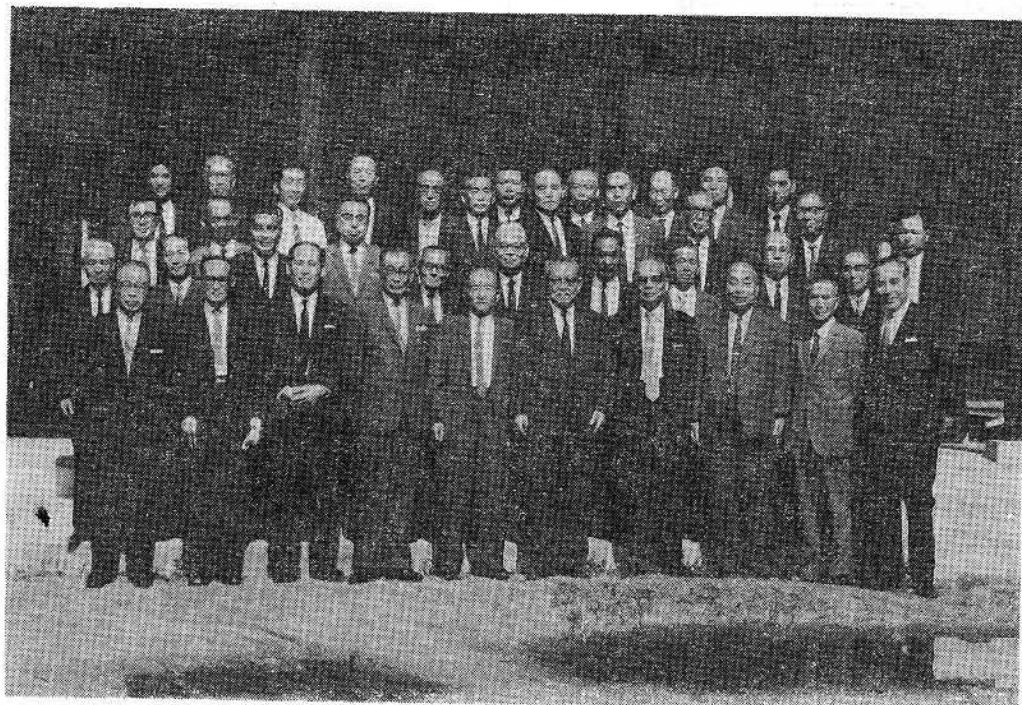
同窓会長

公害の範囲と種類はもつとも
と広く多くあると思われるが、そ
の最大なものを教育公害だと私は
決めつけている。

公害の定義づけであって
これ以外には公害はないと
はいっていない。

公害の範囲と種類はもつとも
と広く多くあると思われるが、そ
の最大なものを教育公害だと私は
決めつけている。

行政対策としての公害防止の進
め方も大いに積極にしてもらいた
いと同時に私のいう教育公害対策
にも格別の配慮を大いに希望して
已まぬ。



本部だより

総会の開催

会長挨拶

六月二八日正午より理事会に引

続して母校の談話室で昭和四五年度同窓会総会を開催しましたので報告致します。

一、開会の辞

二、会長挨拶

三、校長挨拶

四、議案審議

1、四四年度会務会計報告

並びに本年度事業計画の件

2、その他

五、各支部現状報告

六、閉会の辞

開会の辞

皆様御多忙中の処遠路御参集下さいまして有難うございます。只今より本年度総会を開催致します。審議に先立ちまして御順に自己紹介をお願いします。(参加者は次の三八名でした)

村野教務主事、小嶋事務長、石垣留由、川原乙松、斎藤常三郎、江崎廣治、竹内作夫、高橋武衛門、加藤重三郎、安藤智彦、前葉弘文、居鳥宗一郎、吉村武男、鎌田藤吉、堀出政三、中村栄三、三浦学、竹内清磨、神谷義康、筒井賢一、和田春生、末崎弘、西川慶堂、中西勲、小原博、山中晴幸、落合弘明、松本暢生、沢田定一、伊東博文、中村義夫、別府正、谷口英雄、井上豊治、西島好夫、細川英一、松尾正夫、久保郁夫

さて参りましてお見舞に参上するこ

とになりましたことを御報告させ

たる経過を申上げましたが、本日は御多忙のところを多数御参集下ります。同窓会の総会につきましては事務当局も懸命に連絡しておりますが、海上勤務という特殊性もありますことと、遠隔地にお住まいの方々が多いためか思うように御参集願えないくらいがあります。どうか近くの方をお誘いのうえ御来会下さいますようお願い申上げます。

最後に当りまして同窓会に対する御意見などをのちほど拝聴できましたらと思っております。どうか今後とも宜しくお願ひいたします。

事務長挨拶

私がこの学校に参りました驚きましたことは学生が非常に荒っぽいことでした。嫌な学校に来たなあと思いましたが、学生と仲よくかけました。始め仕事ができるかと心配しましたが、どうにかやれてからやることを念頭におきました。今まで二ヵ年間努力いたして参りました。始め仕事ができるかと心配しましたが、どうにかやれてからやることを念頭におきました。これまで二ヵ年間努力いたして参りましたので「安心」といったところです。寮当直を事務官がやっていましたが、どうにかやれてからやることを念頭におきました。嫌な学校に来たなあと思いましたが、学生と仲よく

て参りました。かねてから同窓会の副会長として格別のお骨折を願つて参りました三輪忠平さんが再度入院されまして症状が思わしくなりました。このことで、同窓会といふことがありますので、同窓会といふことです。同窓会といふことになりましたことを御報告させ

す。学生によくなつてもらいたいそのためには自分の息子のことも忘れてよいと思つてがんばつております。

学校長挨拶

小谷校長は御病気のため欠席されたので村野教務主事より御挨拶がありましたが録音不備であったため割愛します。

和田春生氏挨拶

私は同窓会には一度も出席しませんでした。いつも出席できないのを残念に思つていました。私は本籍が伊勢市にあります。ときどき墓参りに参ります。その際には母校にも立寄つております。只今は私の選挙区の調布で市議会選挙が行なわれておりますが、今回の同窓会総会には衆議員選挙の際の御支援に対する御礼を述べさせて頂かなければと出席させてもらいました。昨年の選挙の際は同窓会から物心両面からの御支援を賜りまして誠に有難うございました。

東京七区は日本一のマンモス区でございまして有権者は一六〇万人であります。私には全く縁もゆかりもありません土地でありましたが、全く輸入候補の私が当選できましたのは同窓会を始めとする海運関係の一丸となつた御支援のお蔭であります。本当に有難うございました。現在の海運界は非常に大変な時代に突入しているように思われます。不幸なことでございますが大型船の海難問題であります。昨年始めボリバア丸が原因不

沈没しましたが、早速これを取上げて問題にして原因究明に乗り出しました。国会の運輸常任委員会の中に海運に関する小委員会を設けまして、閉会中といえども船舶の安全に関する審査を続けるという決定を見ました。私もその委員となつておりますが、私は運輸常任委員会の理事をいたしておりますので、いろいろな面で海運に関する究明を行なうことになつています。

最近のように何万トンという大きな船が波にぶつかって沈没するというようなことは従来の海員の常識では考えられない出来事であります。そのうえこののような遭難について不思議なことは海員の操船のあやまりによるという見方が非常に強くなっています。海難審判においても海員の責任を追求するという面に重点がおかれています。そして、船体の構造上の問題、海洋気象、大型船の設計などについては全く粗雑に扱われております。

審判庁の長官を国会に呼び出しまして法律に基いて審判庁が船体構造などについての技術的な究明をする機能があるのかどうかを問い合わせます。不幸なことでございましたが、大型船の海難問題であります。昨年始めボリバア丸が原因不

があります。海員のみの責任を追求するお役所的な考えが強くて原因の究明がぼやかされてしまう傾向があります。何万トンという船が波によって外板が破れたり、フレームが曲るというような事実は経済性を重んじて船を安易に設計しているからであります。根本的な問題がかくされているよう気がします。このような点を明らかにして船の安全性を高めない限り、船体や積荷は保険でカバーできません。海員にとっては大問題であります。でも、どんなに大きな船ができても海員になりてがなくなつてはどうしようもありません。下手すると命をおとすという職場を希望する者は次第に少くなっています。大型船の海難が起るのをなんとか防止しなければならないのです。

ですからこの点につきまして、政府、船主の間では認識が浅いのが残念でなりません。国会では船の安全性についての究明を中心として御奉公したいと考えております。もう一つは母校が高専に昇格いたしましたが、年限はなんら変わらないけれども施設、教授陣、カリキュラムなどについては格段の差があるわけです。これをもっと推進して行かなければなりませんが、入れ物ばかりは立派になつても中身が悪くてはなんにもなりません。青少年の精神面での荒廃がやかましくいわれていますが、私は今までの経験から申しますと、若い人をもう一度見なおす

必要があります。今回の選挙に直つて一人もおりません。そのため国会開会中にもかかわらずためにほとんど取上げられませんでした。今年またカルフォルニア丸が沈没しましたが、早速これを取上げて問題にして原因究明に乗り出しました。国会の運輸常任委員会の中に海運に関する小委員会を設けまして、閉会中といえども船舶の安全に関する審査を続けるという決定を見ました。私もその委員となつておりますが、私は運輸常任委員会の理事をいたしておりますので、いろいろな面で海運に関する究明を行なうことになつています。

最近のように何万トンという大きな船が波にぶつかって沈没するというようなことは従来の海員の常識では考えられない出来事であります。そのうえこののような遭難について不思議なことは海員の操船のあやまりによるという見方が非常に強くなっています。海難審判においても海員の責任を追求するという面に重点がおかれています。そして、船体の構造上の問題、海洋気象、大型船の設計などについては全く粗雑に扱われております。

審判庁の長官を国会に呼び出しまして法律に基いて審判庁が船体構造などについての技術的な究明をする機能があるのかどうかを問い合わせます。不幸なことでございましたが、大型船の海難問題であります。昨年始めボリバア丸が原因不

議案審議

1、四四年度会務、会計報告

2、本年度事業計画

3、会報の発行

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

(七八六、四三五円) 入会者七

三名(入会金三六、五〇〇円)

で四三年度より低調でした。

1、会報の発行

原稿ノ切が八月末になつていま

すので一〇月に発行致します。

2、同窓会々員名簿の新調

昭和四二年六月に発行した名簿

の内容は随分異動が出ています

から本年度中に新名簿を作るよ

う準備を進めていますが、諸物

価高騰のためと、現在の会費納

入状況から見て、従来のよう

無料頒布は困難になりますから

今度は一部五〇〇円宛徴収する

ことになり一同の賛同を得まし

たので御協力下さるようお願い

します。

3、本年度事業計画

4、会費の納入状況

名古屋支部（加藤）
名鳥会は夏に総会をやろうと思つております。万博に「平和の鐘」がニューヨークから出品されています。この鐘は日本から国連本部に贈られたものです。私はこの鐘を運んだ船の船長をしていましたので大変なつかしい思いがします。世界中からメダルを寄贈してもらつて造られたこの鐘は世界各國の平和が祈願されているのです。三月の開会式には当時の船長

次にカリフォルニヤ丸が沈没しました際の機関長の玉置さんは同窓生でありまして、腰の骨を折つたため品川の病院に入院されていまますので見舞に行つて参りまし

りまして二隻は仙台、北海道、あ
との二隻は大分に就航する予定に
なっております。私が相談を受け
ておりますので就航の際は乗組員
などについて今後の御協力をお願
いいたします。

ある私には是非出席するよう国連協会からお招きを頂きました。次に名古屋財界が中心となって太平洋フェリーという会社が航路申請を行なっております。八〇〇トン・カー・フェリーを四隻造

めに長さ七三八メートルの橋がかかる事に
けられることになったわけです。
四九年三月に完成の予定であります。
す。大阪港のシンボルとなると思
われます。万博にお出での際は景
観をお立寄り下さい。

やろうという意見がありましたが、今年は一回しかやれませんでした。た。大阪港に世界第三位の橋がかけられることになりました。コンテナ基地を造成するに当たりまして、コンテナ・ヤードを結ぶた

閉会の辞
長時間に亘って御審議頂き有難うございました。これをもつて開会と致します。

閉会後校庭で記念撮影をすませました。
マイクロバスで市内小浜町のホテル姫島に集合、懇親会を催して歓談の後一七・三〇、来年の再会を約して散会しました。

ージが強いですが御出での節は是非お知らせ下さい。
神戸支部（高橋）
ポートアイランドが完成しましてコンテナー・ヤードができ上りましたことを報告させて頂きました。

慰靈祭その後

秋沢土佐男
六〇〇〇円也
棚木善三郎、人見博、梅山三郎
坂田均、藤田市郎、家里琢夫
五〇〇〇円也
せられた方は次の通りです。
前号で発表した後に寄付金を寄
かた遺族の中には後日わざわざ
参拝に来られ喜んで帰宅された方
も数名ありました。

多年の宿願であつた慰靈碑が学校側並びに同窓の御協力で昨年十一月十二日漸く完成し、盛大な慰靈祭が執行されました。その模様を記

昭和44年度一般会計決算　自至 44年4月1日
45年3月31日

摘要	収入	支出	残高
縁 越 金			921,602
入 会 金 (73名)	36,500		
会 費 (354名)	786,435		
預 金 利 息	63,064		
慰靈碑建設資金の残金	114,687		
同上決算後の寄付金	52,000		
会報印刷及び発送費		201,875	
一 般 印 刷 費		19,350	
通 信 費		43,694	
役 員 旅 費		87,530	
母 校 へ 寄 付		15,000	
慰靈碑建設費として寄付		100,000	
総 会 費		9,250	
役 員 会 合 費		2,750	
郵 便 振 替 料		11,685	
事 務 用 品 費		3,600	
人 件 費		129,000	
慶弔 費		65,405	
記 念 品 代		50,000	
慰 畜 碑 写 真 燃 増 代		10,240	
雜 費		2,400	
合 計	1,052,686	751,779	1,222,509

基金の部決算 (45年3月31日)

摘要	收入	支出	残高
繰 越 金 預 金 利 息	80,496		1,807,049
合 计	80,496	0	1,887,545

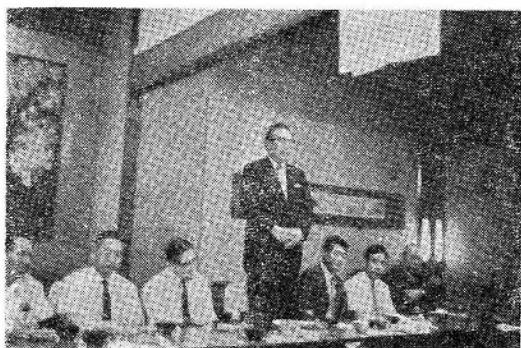
本金財產目錄 (45年3月31日)

項 目	金 高	内 訳	金 高
一般会計	1,222,509	郵便振替	78,138
基 金	1,887,545	貸付信託(安田銀行)	1,170,000
		金錢信託(同上)	203,021
		定期預金(第三相互)	1,000,000
		普通預金(同上)	347,617
		現品(ネクタイピン191)	305,600
		現 金	5,678
合 計	3,110,054	合 計	3,110,054

後に最年長者小林忠次氏（大正二年E卒・七八歳）の音頭で万歳を三唱し、来年の再会を約し散会した。

今回の会合の特徴的な点を拾つて見ると、昭和二十年、三十年代の若手の出席者が多かったこと（非常に多い傾向）、今佐で開催されたので昭和十八年組の出席者が多かったこと、和田候補の激励会的な意味もあったこと、慰靈碑除幕式のアルバムを用意したり、京浜錦浦会の二十年の歩みのパンフレットを配付したり、会の運営に工夫があった。また自己紹介も同級生がいる場合はグレープで紹介するとか、小池忠平氏の求人広告まで入れるものまであって、バラエティにとんだ内容であった。

最後に一言つけ加えると小山会員の具体的説明があつて懇親会に移り、恒例の自己紹介や、今佐提供の美女による舞踊等もあって、最



商船は地方商船では最も歴史が古く、優秀な人材も多く各方面で活躍しているにもかかわらず他校に比較して団結というか、横のつながりが薄い傾向にある。和田候補を国会に送り出す運動を機会に大いに反省し改めるべきではないだろうか。なお会合を開くについて犠牲を払って格安に引き受けたかったこと、和田候補の激励会的な意味もあったこと、慰靈碑除幕式のアルバムを用意したり、京浜錦浦会の二十年の歩みのパンフレットを配付したり、会の運営に工夫された。

出席者氏名（順不同、敬称略）

小林忠次、江崎広治、奥平鱗太郎

小山亮、家里琢夫、鈴木和市、小

池忠平、上村文三郎、田中章治、

坂口才五郎、中村栄三、平光五一

吉原保行、浜崎健三、三輪忠平、

和田春生、岡島利夫、城山孝夫、

久保文計、高安謙次郎、桜井輝之

青木佐加男、諫訪致道、石川正次

郎、浅野和昭、大野純亨、杉島昇

関口常春、石田輝昭、金子昭、林

幹夫、菅恵治、登内繁、上山浩、

荒井愼靖、正元弘三、杉浦有光、

太田祐庸、佐藤文宣、柴崎進次郎

、奥玉健、輕部欣四郎、安藤恵輔

直江良矩、小野卓章

（四四・一一・一五記）

第二信

京浜支部の歩み

（二十二年間）

日本が敗戦の混乱からいまだに立ち直らないでいた昭和二十三年同窓会の支部が大阪に誕生したということもあって、当時東京にいた福永芳雄氏（運営会芝浦出張所）村島一雄氏（運営会本部）等

の骨折りによって、十月三十日芝

浦港に停泊中のときつ丸（日本海運所属、船長森野正治氏）の船内で発会式をあげた。集まつた人は二十三名で京浜錦浦会と名づけられた。

これは、京浜錦浦会の初代会長

で木月で郵便局長をやっていた鈴

木豊作氏の尽力によるものである

実際は伊藤という三重県出身の個

人の家であるが、鳥羽の同窓生の宿泊や会合に使うというような名

目で建てられたものだそうであ

る。この人はいま大倉山に住んで

いる。

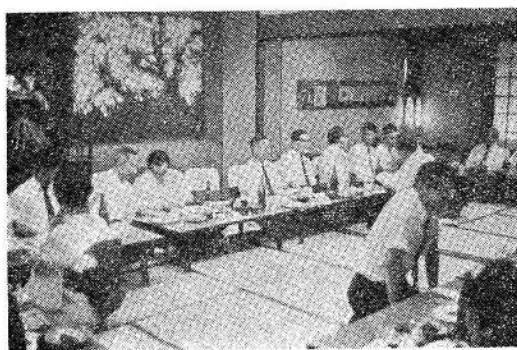
昭和三十年代に入つて、世の中も落ち着いてくるにつれ参加する人が増加し錦浦荘では収容できなくなってしまい、船会社の寮のような所が会場にあてられるようになった。

四十年代になると会社の寮でも収容しきれなくなり、横浜からも集まりやすい場所として東横線多摩川べりの松籠荘が四年続いている現在に至つている。

同窓会といつても、支部の総会であるから、どちらかというと、年一回の親睦会的な内容の集りであるため、大きな議題はあまりなかったが、二十四年、二十五年頃は母校の廃校の問題等が主なものである。

また、参加者の多かつたのは三十九、四十、四十一年の三年間で特に四十年は小山十一会会長も出席されるようになり、六十七名という人員を記録した。

最近、出席者の顔ぶれは定まつてきているが昭和二十年より前に卒業した戰前派の出席率がよく、



京浜支部の歩み

（二十二年間）

日本が敗戦の混乱からいまだに

立ち直らないでいた昭和二十三年

同窓会の支部が大阪に誕生したと

いうこともあって、当時東京にい

た福永芳雄氏（運営会芝浦出張

所）村島一雄氏（運営会本部）等

の骨折りによって、十月三十日芝

浦港に停泊中のときつ丸（日本海

運所属、船長森野正治氏）の船内で

発会式をあげた。集まつた人は

二十三名で京浜錦浦会と名づけら

れた。

これは、京浜錦浦会の初代会長

で木月で郵便局長をやっていた鈴

木豊作氏の尽力によるものである

実際は伊藤という三重県出身の個

人の家であるが、鳥羽の同窓生の宿泊や会合に使うというような名

目で建てられたものだそうであ

る。この人はいま大倉山に住んで

いる。

昭和三十年代に入つて、世の中も落ち着いてくるにつれ参加する人が増加し錦浦荘では収容できなくなってしまい、船会社の寮のような所が会場にあてられるようになつた。

四十年代になると会社の寮でも収容しきれなくなり、横浜からも集まりやすい場所として東横線多摩川べりの松籠荘が四年続いている現在に至つている。

同窓会といつても、支部の総会であるから、どちらかというと、年一回の親睦会的な内容の集りであるため、大きな議題はあまりなかったが、二十四年、二十五年頃は母校の廃校の問題等が主なものである。

また、参加者の多かつたのは三十九、四十、四十一年の三年間で特に四十年は小山十一会会長も出席されるようになり、六十七名という人員を記録した。

最近、出席者の顔ぶれは定まつてきているが昭和二十年より前に卒業した戰前派の出席率がよく、

力依頼があり、小山亮全日本船舶職員協会会長より当選をかちとるため同窓生一同発奮協力せよと趣旨の挨拶があった。諫訪全海東京支部長から協力について具体的説明があつて懇親会に移り、恒例の自己紹介や、今佐提供の美女による舞踊等もあって、最

長の挨拶で指摘されたように鳥羽

の具体的説明があつて懇親会に移り、恒例の自己紹介や、今佐提供の美女による舞踊等もあって、最

長の挨拶で指摘されたように鳥羽

の具体的説明があつて懇親会に移り、恒例の自己紹介や、今佐提供の美女による舞踊等もあって、最

長の挨拶で指摘されたように鳥羽

若い人は少ないが、鳥羽の卒業生は京浜地区に三〇〇名以上いるとされている。七〇七八〇名程度の出席者はあってもよいのではないか。

次に、この会を支えてきた人、印象に残っている人たちを拾つて見たい。

まず、第一番にあげなければならぬ人は、最初から現在まで一回も欠席したことなく、しかも二十年間会のめんどうを見てきている岡田商船の三輪忠平氏である。毎年一回会合が開かれているのも、最近の勝川先生の海の記念日の表彰祝賀会、和田衆議院議員の政界出馬激励会も三輪氏等の尽力によるものである。

また、昭和三十七年馬場汽船から長崎県の大島炭鉱に行かれた村島一雄氏も最初から会の仕事に関係した人で落すわけには行かない。

最近は岡田商船の中村栄三氏や山下新日本汽船の久保文計氏等も会のめんどうを見ている。八十歳代で出席された私立時代卒業の大先輩の青山静夫氏、角茂助氏、最近亡くなられた森本信一氏等も印象に残っている人である。

昭和四十年に小山亮氏が出席されるようになってから会が一層にぎやかになってきたように感ずる。

若年の方で一人あげるならば日本郵船で活躍中の待井信一氏などは動員力のある男で、六十七名集まつたのは彼の力によるものが大であった。

トとして最も応援したのは筒井堅一氏であつたことをつけ加えた。そろそろ二十代、三十代の陸勤者で二三人協力する人が出てきたてもよい頃ではないだろうか。な

お会長は角茂助氏から最近江崎広治氏に引きつがれている。

(資料は故三輪忠平氏提供)

(K・A記)

第三信

衆院選和田春生氏応援記

戦後、船員出身者より国会に議席を得た人は数少ない。特に小山松浦の両氏が議席を失つてから何人かの人人が議席獲得に挑戦したが目的が達せられず今日に至ったのである。

海運界、船員界には「何とか国會議員を」の悲願があつたが、今回、同窓生である和田春生氏が、より立候補、苦戦の末、見事衆院に議席を得たことは、永年の悲願であつただけに、党派を超えて誠に喜ばしいものがある。獲得した十二万票から見れば同窓会が集めた票などは僅かなものであるがその応援の記録を振り返つて見た。

昭和四十四年二月十三日夜

拜啓、師走の候、皆様には何か

とご多忙のことと存じます。

さて去る二日衆議院は解散され選挙戦は始まっております。既にご承知の通り我々の同窓生である

なお、昨年十二月の総選挙で見事国会議員の金的を射とめた和田春生氏には京浜支部としても微力の出席者はあつてもよいのではないか

く、政治、社会、国際の各分野にわたり理論と実践の両面において活動的活動を展開してきた人物

具体的な方法として、十一月下旬に発行された同窓会報を通じ、三多摩地区に居住している親せき友人、知人を紹介するように会員に呼びかけた。(会報は約二、〇〇部発行)

しかし、将来党の最高幹部たりうる人物であります。加えて今日の政界には小山亮氏引退後、海員出身者がおりません。去る十月十二日開催の同窓会総会においても和田春生氏を支援することをきめております。

新宿の割烹「今佐」において、四十四年度の同窓会京浜支部の総会が開かれ、四十五名の出席者があつた。この席上、同氏を激励すると共に、選挙も間近いので、三多摩地区に居住している知人等ができる限り紹介し協力することにした。

十二月三日

選挙が近づいたので、京浜地区在住理事の連名で三多摩地区居住者三〇数名に次のような協力要請の文書を発送した。

十二月二十七日

投票日、投票率が悪かったとテレビのニュースが伝えていた。何だか有利に展開したようになつた。

いる同窓生は三〇数名おります。浜地区在住同窓生三〇〇名余に課せられた重要な使命であろうかと存じます。現在第七区に在住して

いる同窓生は三〇数名おります。運動員になつて積極的なご活動を

き、お知り合いをできるだけ多くご紹介願うと共に、和田春生氏の運動員になつて積極的なご活動を

心からご期待申し上げます。

以上の趣旨をご高察の上是非ご協力を心からお願い申し上げます。

十二月七日夜 敬具

第四信

毎年秋に開催されていた恒例の

選挙の公示の日であり、国分寺の三多摩本部事務所の選挙事務所が開きに京浜在住同窓生を代表し、本年は

三輪、江崎、浜崎、望月、筒井、青木、浅野の七名が出席し、三輪副会長が挨拶、一同必勝を祈る。

十二月二十二日夜

四十四年度の同窓会総会が、母校鳥羽で開かれた。京浜地区より三輪副会長、江崎支部長等六名が出席、東京における状況報告(パンフレット・紹介者用紙等持参)

と支援を要請し、必勝を期するため同窓会としても総力をあげて応援することになった。

具体的な方法として、十一月下旬に発行された同窓会報を通じ、三多摩地区に居住している親せき友人、知人を紹介するように会員に呼びかけた。(会報は約二、〇〇部発行)

新宿の割烹「今佐」において、

四十四年度の同窓会京浜支部の総会が開かれ、四十五名の出席者があつた。この席上、同氏を激励すると共に、選挙も間近いので、三

多摩地区に居住している知人等ができる限り紹介し協力することにした。

十二月二十三日夜

三輪副会長が、西島同窓会会长(三重県伊勢市に在住)の代理として国立市の立会演説会場に陣中

和田春生氏を支援することをきめておりました。

十二月二十七日

投票日、投票率が悪かったとテレビのニュースが伝えていた。何だか有利に展開したようになつた。

十二月二十八日

テレビの開票速報で最下位ながら当選のニュースが入つた。微力ながら応援した者同士が電話で連絡しながら同氏の当選を喜び合つた。

なお浜崎、望月の両氏が国分寺の事務所に当選のお祝いに伺う。

三月一日 浅野和昭記

十一日（金）午後六時三〇分から昨年と同じ新宿の割烹・今佐で行なわれた。三十四名の出席者があって、盛会のうちに午後九時三十分終了した。

暑い季節であったためか、若手の出席が悪く、昨年より十名少なかつた。

会は、久保文計理事の司会により進められ、江崎支部長の挨拶に始まり、和田春生衆議院議員より選挙に対する応援の御礼の挨拶と堅一理事より六月に母校で開催された同窓会の総会と最近の学校の模様等の報告があった。続いて筒井

堅一理事より六月に母校で開催された同窓会の総会と最近の学校の模様等の報告が行なわれた。その後に、浅野和昭理事より京浜錦浦会の活動及び会計について簡単な報告があつて最後に小山亮船員諸団体の統合及びビルの建設問題、戦没船員の碑の建立の状況について可成り詳しい報告等があつた。続いて懇親会に移り、家里琢夫氏の音頭により乾杯が行なわれ、今佐の厚意による芸能陣の舞踊等もあつて最後に小山亮氏の音頭で万歳を三唱し、来年の再会を約して散会した。

今回の会合の感想をのべて見ると、京浜錦浦会発足以来、二十二年間皆出席でしかもこの会の功労である三輪忠平副会長が病気入院のため見えなかつたことは大変残念であった。昭和二十年、三十年代卒の若手の出席が悪かったが、今後は、この年代より幹事を選出して若手の出席率をよくするように工夫する

必要があるのではないだろうか。また、横浜からの出席が便利な所も会場として考えて見たらどうだろう。

なお、毎年二五〇通程度案内状を発送しているが返事のないのが一〇〇通もあるそうである。手分

けして案内状を書いている人の事も考えてほしい。余りにも失礼ではないだろうか猛省をうながしたい。

中村栄三理事は船主協会の会議の都合等もあって止むを得ず欠席とな

る。浜崎健三、近藤辰郎、久保田隆夫、望月武男、筒井堅一、和田春生、松岡秀次、城山孝夫、久保文計、

青木佐加男、浅野和昭、大野純亨、杉島昇、関口常春、石田輝昭、高浦義一、鹿島博、藤本勇、林幹夫、小山逸男、宇賀神晃、内田倉司、長谷川好道、直江良矩、都策利人

(K・A)

第五信

三輪忠平副会長逝去



的存在として、敗戦直後より支部の再建にあたると共に、最近は母校の高専昇格問題、慰靈碑の建立和田春生衆議院議員の選挙の応援等で活躍された。

また、戦後の東京支部の総会には昨年まで皆出席をつづけました

が去る八月二十一日の今佐での会合には遂に姿を見せることが出来ませんでした。

来年の母校創立九〇周年を目前にして、永眠されました氏の胸中の存在であった、三輪副会長が去る八月二十九日午後四時二十分胸部腫瘍のため東京お茶の水の東京医科大学病院にて逝去されました。

名古屋



万博の平和の鐘に贈る

名鳥会会長 加藤 重三郎

『人類の進歩と調和』

トマを、高く掲げた万国博期間もあと僅かに数日を残すことになつた。

『平和の鐘である』

▲常島丸の航海

昭和二十八年も、いよいよ終りの十二月二十一日、私は新造船常島丸の船長として、フィリピンから紹興揚げの砂糖一万屯を積んでまだ残余のスペースには、日本からの輸出貨物を満載するために、横浜港に寄港した。

常島丸は、戦後紹興定期航路を

第一番に開設した飯野海運が、新たに投入した日本船としては、

当時最優秀の船である。

速力二十三ノット、船客搭載設

祈り申し上げたいと思います。

告別式は八月三十一日（月）午後一時～二時まで自宅で行なわれ

船会社、全日本船舶職員協会および同窓会関係者多数の会葬者があり、同窓会・小山全船協会長・和田衆議院議員などからの盛花が靈前に供えられ、谷口副会長の弔辞などもあって、しめやかな中にも盛大にとり行なわれました。

万博の平和の鐘に贈る

名鳥会会長 加藤 重三郎

『人類の進歩と調和』

トマを、高く掲げた万国博期間もあと僅かに数日を残すことになつた。

『平和の鐘である』

▲常島丸の航海

昭和二十八年も、いよいよ終りの十二月二十一日、私は新造船常島丸の船長として、フィリピンから紹興揚げの砂糖一万屯を積んでまだ残余のスペースには、日本からの輸出貨物を満載するために、横浜港に寄港した。

常島丸は、戦後紹興定期航路を

第一番に開設した飯野海運が、新たに投入した日本船としては、

当時最優秀の船である。

速力二十三ノット、船客搭載設

備もあり、ニューヨーク航路とし

（） 同窓会関係者

谷口英雄、江崎広次、平光五一

中村栄三、浜崎健三、近藤辰郎、

久保田隆夫、望月武男、松岡秀

次、久保文計、青木佐加男、浅

井

昭和二十年、三十年代卒の若手

を祈つたのですが、葉石効なく八

月二十九日遂に不帰の客となられました。

氏は、若くして京浜支部の中心

公害に取組む落合先生

S 22 N 落合弘明君は母校に奉職してから二十年になりますが、今もなお気象学の研究に余念がない。最近はやりの公害では伊勢湾上空よりこれを観察し、度々NHKの放送や新聞紙上で発表していますので最近の中日新聞報道を紹介します。

(事務局)

月曜インタビュー

最近「熱汚染」ということばが聞かれる——工場などから流される高温排水で海面の温度が上昇し、魚がすまなくなるなど、知らないうちに自然が破壊されていく新しい公害だ。この観測に取り組む研究者が鳥羽市にいる。落合弘明国立鳥羽商船高専教官(四〇)は伊勢湾特別気象観測の目的は……。

(聞き手・鳥羽通信局新崎邦雄
記者)

「面」の観測に拡大

落合 気象観測の一つとして温度を今までの「点」の観測から「面」の観測に広げ、より精密なものをとらえようということです。その方法としては航空機に赤外線放射温度計や赤外線カメラなどの機材を備え、空から海面や地表面の物質が、温度によって放射する赤外線をキャッチ。一定範囲の平均温度の平面分布を立体的に連続記録するものと、熱写真としてオシログラフに表示するものがありますが、双方の方法を利用して正確な記録をとっています。この観測を続けていているうちに、湾内で大きな変化が出るという。このようないい、自然環境の破壊にとどまらず人間生活にまで影響しかねない。これまでのように公害が広がってから騒ぐ対策ではダメだ。いまのうちに規制基準をつくらないといふと、自然環境の破壊にとどまらぬ間に生活にまで影響しかねない。これまでのように公害が広がってから騒ぐ対策ではダメだ。いま問題になっている水質に関する改善法には是非でも組み込まなければ手遅れになる」と温かみのある顔を引き締めて力説した。若さにものいわせてエネルギー・システムに観測

活動を続ける落合さんには、研究者として汚染を追究する執念が感じられた。

(事務局)

落合 これまでの資料をまとめみると、湾内の汚染は確かに進んでいますね。石油類によるものでは常滑沖が最もはつきり現われていました。それから大工場がある沖合いは工場から大量の高温排水が出るので、軒並みに四一五度も高かったです。名古屋や四日市港でも同じ傾向でした。こういった状態なのにさらに中部電力の渥美火力発電所が営業を始めたとき、中南勢開発が具体化すれば自然環境の破壊だけべきだと強調している。同校の気象研究室を兼ねた教室にたずねると、机の上に積み上げた資料の熱写真やグラフを手にして「こんなに高温が記録されていますよ。いまのうちに規制基準をつくらないといふと、自然環境の破壊にとどまらず人間生活にまで影響しかねない。これまでのように公害が広がってから騒ぐ対策ではダメだ。いま問題になっている水質に関する改善法には是非でも組み込まなければ手遅れになる」と温かみのある顔を引き締めて力説した。若さにものいわせてエネルギー・システムに観測

落合 四日市港では、午起沖と塩浜沖で異常な水温上昇が現われています。高温排水によることがはつきりしましたが、一時期には九度も高いのに驚き、自分の目を疑ったこともあります。尾

電所が排水の温度測定をしているところだから、ここも火力発電所からの高温排水が原因ですよ。発電所が排水の温度測定をしていると聞いていますが、隠しているようですね。企業が積極的に公害に対する対応を怠らなければいけない時期なのに腹立たしくなりますね。

落合 それから津・松阪沖で数カ所に赤潮や暖水塊が見られました。赤潮は水温の異常上昇で発生するといわれていますが、わずか一・五度の高温で発生していたのは特異な現象です。こんな状態では魚の住める海が少なくなり、漁業の不振はさらに深刻にならざるをえないでしょう。

(海面の温度差は普通一度前後潮流、汚染物質の混入や高温排水で大きな変化が出るという。このようないい、自然環境の破壊にとどまらず人間生活にまで影響しかねない。これまでのように公害が広がってから騒ぐ対策ではダメだ。いま問題になっている水質に関する改善法には是非でも組み込まなければ手遅れになる」と温かみのある顔を引き締めて力説した。若さにものいわせてエネルギー・システムに観測

落合 (県はこの実情をつかんでいるのだろうか。熱汚染だけでなく、赤潮が観測結果のようにならずかの水温上昇で発生するなら、漁業には大変な影響が出る。「県も県内海域調査に本腰を入れるべきだ」と、話そうとしたら同じ意見が返ってきた)

必要な規制基準

落合 高温排水に対する対策はなにがありますか。

落合 水質に関する法律は、水質保全、海水汚濁、工場排水、下水道など多いのですが、どれにも適用できないのが実情です。だから国が一刻も早く規制基準をつくることが先決です。だが、法制化されるまでにどんどん汚染が進むので、企業側の自主規制の徹底や自治体の監視が望ましいことです。魚の養殖業者など民間で定期的に水温調査して監視しているケ

午起沖など上昇

(県内の沿岸はどのような状態でしょう。)

落合 大気汚染や放射能汚染といった公害があまりにも大きく表

れてきたという状態ですが、これから原子力時代を迎えると、既

成公害に代わって社会の中心課題になるように思います。私の目から見れば、現状でも大きな社会問題です。東海地方の全工業用水使

用量の二〇割が無制限に給水できる海水でまかわされていて、そのほとんどは冷却水として使われ、熱くなたまま排水されるんだから大変な量の高温排水ですよ。たとえば火力発電所は一日五百万トン近い冷却水を放流していますからね。

落合 ほとんどのは冷却水として使われる海水でまかわされていて、そのほとんどは冷却水として使われ、熱くなたまま排水されるんだから大変な量の高温排水ですよ。たとえば火力発電所は一日五百万トン近い冷却水を放流していますからね。

落合 ほとんどのは冷却水として使われる海水でまかわされていて、そのほとんどは冷却水として使われ、熱くなたまま排水されるんだから大変な量の高温排水ですよ。たとえば火力発電所は一日五百万トン近い冷却水を放流していますからね。

ースがあるので、自治体が関心を持たないのはおかしい。水温調査である程度の監視ができるうえ、排水する企業側も大気汚染などのように特別な設備を開発しなくては、前向きに取り組むべきです。

——国や自治体が、それぞれの立場で公害対策に積極的な態度をとるようになってきましたが、どうみておられます。

落合 既成の公害分野では、確かに積極的になりましたね。だけれど行政機関には専門の技術者がいるので、的確な対策が打ち出されないように思います。

調査しても結果の発表はほとんどないでしょう。私たちが資料を提供しても、利用されているのかどうか、音沙汰（おとさた）なしですよ。企業側に遠慮しなければならない立場もあるでしょうが…。発表があっても事後調査で、出した公害を少なくみたり、決められた許容量の基準以内なら住民は「ガマン」すべきだといった内容が目立ち、企業サイドで住民無視というような考え方は許せない。

(強い語調で言い切り、めがねの奥の目を光らせた。正しい調査にはどんな資料の提供にも応じ、直接説明にも出向くという態度が読み取れた)

——公害についてあなたの意見を……。

落合 行政機関、企業、住民それぞれの立場で言い分があるので

から、同じテーブルについて、どちらにも偏しない公害対策に取り組まなければ解決できないと思っている。私は“海はすべての生物の財産である”ということを強く提唱して置きたい。

（インタビューを終えてから）

「どんな障害があつても、伊勢湾の熱汚染観測はあくまで第三者的立場でやり遂げますよ」と決意をつけ加えた。頼みます）

転載

☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆
☆☆☆☆☆
昭和四十四年十一月十五日、第八回さむらい会は長年の宿願がかなつて九州初開催となつた。場所は別府市、東洋一の豪華さを誇る杉の井ホテルの一〇号特別室だ。燃えるような紅葉にいろどられた連山、眼下に望む別府湾はどこまでも青く深く、いたるところから立ちのぼる湯煙りはただ濛々として街をつつみ、別府はさすが火の国九州を象徴するかのようである。

住の原住民塙田等の勢揃いでござる。久保（東京）、和田（東京）大坪（長崎）、鈴木次（大阪別府路機長）の四氏は出席の予定なしも気象状況悪く飛行機欠航、たゞ急用のために参加出来なかつた。

九州会場設定の大役を承わつていた俺は、前日から来福していた大沢を伴つて午後二時すぎ別府駅に到着。次第に悪化していく空模様をながめて、「さむらい会」の成功を祈る我が心は既に泣かん勢りなり。されど級友と再会の期待に胸は躍る。早速タクシーを拾つて目指すホテルにとび込む。おおいた。神谷だ。常に一番のりの誇り高き男神谷がすでにどうぞ姿になつて悠然と構えているではないか。一年ぶりに握るその手の何とたくましく暖かきことよ。他の奴はまだかと待つほどに電話のベルが鳴る。羽田空港から久保の声だ。大分行飛行機はすべて欠航でどうしても行けぬ、と悲痛な声だ。残念だがしかたがない。困ったことになつたぞ、わるいくいくと他の連中も来られないかもしねぬ。天をにらんでしばし憤然。ああ、しかし来た!! 「お客様がお着きですよよ」おけいさん（女中頭）の美声、俺にはまさに天使の声だ。ついに来た。悪天候をついて遠いところからやって来てくれたこの一瞬を共にするために橋本、楠木、そして彼の令夫人だ。かれ等の乗つた飛行機は大分空港に着陸できず福岡空港にひき返えした。

ため、そこから車をかって六時頃
悪路はるばる駆けつけたのだ。や
むらい共の友情に全く我が胸が熱
くなってきた。それから間もなくま
で待っていた男岡島がにぎやかにや
つて来た。

宿に落着いた男達は例によつて、海の幸山の幸と地酒に満足して夜の街に出る。さすがは男の街、よかところ、さむらい共も年を忘れてはつらつとなる。若き天草乙女のはサービスには世俗に染まぬ純真な真心がこもっていた。樂しきかな今宵美しきかな天草、いつの日か又来らん。

翌朝七時半朝食申別府航路の鎰
木より電話あり、只今入港せしも
直ちに出港のためクラス会に行け
ぬとのこと。きびしい海上生活の
友よガンバレ！社用に多忙な岡島
と別れてわれら六人組は、今日の
目的地を天草に定めバスの客とな
る。湯の町をあとにした観光バス
は九州横断道路山波ハイウェーに
入る。

森林あり、渓谷あり、草原を走り湖水に至る。パノラマの如く展開する景色で高原の風は今一つござ

開て、景色は高處の風に冷やかで
快し。やがて阿蘇の噴煙が見え
る。六根清淨のわれわれが近づく
に従って天は雲をはらい大噴火口
はその底まで見せてくれた。幾万
年昔から燃え続ける阿蘇火山の神

秘と豪快な大自然の迫力の中で、われわれは肅然として昼食をとる。

天草本渡に向かう。熊本を経て玉草五橋を渡り宵やみせまる頃街の灯に迎えられて本渡市に着く。バスの窓から見えたあちこちの石碑はその昔キリスト教徒迫害の衰史を語る記念碑か、それとも信仰に生き抜いた人々の慰靈碑なのか、道行く人の顔にも話する人の声にも家のたずまいにまで何となく人情の興味が感じられてうれしい。

宿に落着いた男達は例によつて海の幸山の幸と地酒に満足して夜の街に出る。さすがは男の街、よかところ、さむらい共も年を忘れてしまうつらくなる。若き天草乙女とのサービスには世俗に染まぬ純真な真心がこもっていた。樂しきかな今宵美しきかな天草、いつの日か又来らん。

一夜あけて十一月十七日、今日は解散となる。去りがたく別れがたいがまた次回の会合を楽しみにさようならとなつた。朝霧の彼方に見えなくなつて行く友、空高く爆音と共に去つて行く友、お互に長生きしようぜ!!

なお神谷、大沢と俺は秋深き山雲仙を訪ねるべく長崎へ向かつた。次の（第九回）さむらい会は、橋本（京都）に計画してもう事にしてバトンを渡しました。彼からの案内に期待して下さい。

小生の怠慢によりレポート提出が斯くも遅れたことを深くお詫びいたします。（塙田記）

文豪川端先生の「伊豆の踊子」なり、洋風の宿が多くなっているが、幸い湯本館は新館が増築されで一躍天下に有名になった伊豆の湯ヶ島を久し振りに訪ねる事にした。

嘗て終戦前の七月満鉄東京支社

タ友と共に十日間の予定で湯ヶ島で最も古い湯本館の別館で静養した事があった。一度是非訪ねて見たいと思い出し宿の主人に照会を

取扱す予定との話であった。近々別館は川端先生が滞在された二階の室は昔の儘保存され、参觀に来る客も多いと聞く。湯舟も大体昔の儘

食後トランプ等をして時間を楽しんだ事であった。時には天城の淨蓮の滝まで散歩に行き、滝の流れで採った川のりで作ったのり巻を中食にした事も覚えている。宿の主人にこの「おみね」さんの現況

を尋ねると、主人の話では現在「おみね」さんは元気で修善寺温泉に暮しているが、結婚運が悪く三度失敗して現在に至っているが余り幸福でないと聞き氣の毒に思つた。こんな純情な女性を苦しめることなく、この宿に滞在中色々居る男性が居る事は残念な世の中で

の台風で川の流れが変り今では淵も遠く向う側になり、昔の様子があつたが、現在は全国から団体バスが乗入れ実に騒然とした温泉場となつて昔の姿が見えない現状であつた。今では宿も二十軒余りに

二十年振り湯ヶ島を尋ねて

したところ、心良く待っていると返事が来たので早速行く事にした。滞在当時は大変静かな温泉場で湯本館の他に二ヶ所の宿があり主として東京方面の家族連れの湯治客が多く利用されていた様子であった。今では宿も二十軒余りに

宿の隣に当時露天風呂があり宿の二階から男女混浴の姿が見えた

この宿に滞在中色々と世話をし

ん」にそつくりの御手伝さんが居た。確かに名前は「おみね」さんと呼んでいた。社友の仲間にもこの

先生が小説の中で書いて居られ

る露天風呂はこの風呂の事であ

る。備されているが昔の情緒は見られない此の間の事が遙か遠い昔の様になってしまいます。殊に海上で暮していると世情にうとく、知人と会う機会も逃し勝ちである。したがつて旧交を温めることも少くなる。

春にはまだまだ遠い如月。乗船が目前に迫った某日、在阪神の同級生の集いを前野君に図ってみた処、大阪では度々我々昭和18年度卒者で大阪在住者が顔を会わせているがそれでは神戸でやろうとの事になり、神戸山手の料亭に大阪よりは、

近畿海運局労政課長 小原博君 拓南産業社長 中西勲君 八馬汽船船長 石井敏一君

伊藤欣平君を交える事が出来ず残念であったが、次の面々の出席を

或る冬の夜の集い

N18 坂下安伸

神戸冷蔵常務の 川上英一君
川崎製鉄の 笠原三郎君
協成汽船海務部長前野嘉三郎君
筆者ジャパンライン 坂下安伸
二期下で前野君の部員 東爪君
諸方努力したが連絡のつかなかつた、西岡久三君と田口成人君の相見えることが出来なかつたのも残念であつた。一〇年一昔はた又卒業以来初めての前記の面々の他、またまた専用で来神された大先輩谷口英雄先生の御出席を載き盃をあげ、鍋料理をつつき、懐旧談笑冬の夜を短いと感じる一夜であつた。

次回には「かあちゃん」同伴で集ろうとの前野君だつたかの提案大学卒業、中学入学の子女を持ち頭が白く、或る者は薄くなれば焼飯坂時代とちがつて家族ぐるみの集いも亦良哉ということと相成つた次第。

談尽きぬも大阪へ帰る都合もあり、校歌、賛歌、水泳部歌と想いをこめて合唱の後散会した。

東には全日海東京支部長諭訪致道君、新宿料亭の青木佐加男君、ミシン商会の植田孝夫君が在り、四日市港管理組合には北岡万二君など健斗されている由、そして度々級会をやっているとか、神戸に入港の折は生田区京町協成汽船の前野君に是非連絡を乞う大阪では海運局の小原君に。地方在住の諸兄共々いつか一同に集ることが出来たら欣快如何ばかり。

		(一〇、〇〇〇円也)					
		(九、〇〇〇円也)					
		(八、〇〇〇円也)					
N	N	E	N	E	N	E	N
鈴木 梅村 井上 荒川	西川 典昭 典弥	石田輝昭 大西彦三郎(終身)	前野 稔	水戸岡公一 川原 乙松(終身)	前野 稔	西井 別府	川上英一君
鈴木 梅村 井上 荒川	西川 典昭 典弥	石田輝昭 大西彦三郎(終身)	前野 稔	水戸岡公一 川原 乙松(終身)	前野 稔	西井 別府	川上英一君
N	N	E	N	E	N	E	N
岡田千代松 正夫 伸雄	和市 角 茂助(終身)	伴野 富夫	山内 末夫	柴山 要	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
岡田千代松 正夫 伸雄	和市 角 茂助(終身)	伴野 富夫	山内 末夫	柴山 要	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
N	N	E	N	E	N	E	N
中村 宮本 佐藤 柴山	伊藤 永治 喜弘	佐藤 要	山内 末夫	長谷川三千男 富岡 巳義	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
中村 宮本 佐藤 柴山	伊藤 永治 喜弘	佐藤 要	山内 末夫	長谷川三千男 富岡 巳義	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
N	N	E	N	E	N	E	N
林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄
林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄	林 吉木 幸雄
N	N	E	N	E	N	E	N
中村 浅吉 喜弘	伊藤 末三 喜弘	佐藤 要	山内 末夫	長谷川三千男 富岡 巳義	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
中村 浅吉 喜弘	伊藤 末三 喜弘	佐藤 要	山内 末夫	長谷川三千男 富岡 巳義	北川文男(終身)	堀内 均	斎藤常三郎(終身)
N	N	E	N	E	N	E	N
吉川 坂本 雅議 実	吉川 坂本 籠尾 三宅	今泉 勘一 経夫	阿原 亘	泉 千々波天信 伊藤 興生	中山 一美 平井 欣平	清水 芳彦 丹羽 彰夫	時岡 信一 斎藤常三郎(終身)
吉川 坂本 雅議 実	吉川 坂本 籠尾 三宅	今泉 勘一 経夫	阿原 亘	泉 千々波天信 伊藤 興生	中山 一美 平井 欣平	清水 芳彦 丹羽 彰夫	時岡 信一 斎藤常三郎(終身)
N	N	E	N	E	N	E	N
西山 和田 誠作	西山 和田 誠作	秋田 浜口	中西 章	湯川 内藤	横田 坂下	清水 芳美	時岡 信一 斎藤常三郎(終身)
西山 和田 誠作	西山 和田 誠作	秋田 浜口	中西 章	湯川 内藤	横田 坂下	清水 芳美	時岡 信一 斎藤常三郎(終身)
N	N	E	N	E	N	E	N
海保 小椋 幸人	奥 大門 義和 長幸	増田 松本 茂信	塚 田中 紀昭	岩 北岡 萬二 茂生	柴 松野 英夫 康茂	森 松山 高野 下村 高野 和泉	雨森 森口 石川 正次郎
海保 小椋 幸人	奥 大門 義和 長幸	増田 松本 茂信	塚 田中 紀昭	岩 北岡 萬二 茂生	柴 松野 英夫 康茂	森 松山 高野 下村 高野 和泉	雨森 森口 石川 正次郎
N	N	E	N	E	N	E	N
岡田 岡田 加藤	大西 大西 晴康	鈴木 高橋 誠一	田中 武田 酒井	橋川 渡辺 和田 桜井 高野 和泉	湯川 上野 久滋 道雄 嘉美	横田 坂下 福井 昭治 道夫	清水 森田 上松 親男
岡田 岡田 加藤	大西 大西 晴康	鈴木 高橋 誠一	田中 武田 酒井	橋川 渡辺 和田 桜井 高野 和泉	湯川 上野 久滋 道雄 嘉美	横田 坂下 福井 昭治 道夫	清水 森田 上松 親男
(新卒入会金を含む)							

編集後記

一、至急を要する連絡事項は左記
へお願いします。

517 鳥羽市池上町三丁目
電話(090)513-3239

谷口英雄

一、次号原稿の〆切は四十六年八
月末日としますから奮って御
投稿下さい。

鳥羽丸主要目

船舶航行区域	長低船首樓甲板型 第4種船 近海第1区	長 長 長 長 長 深 イニシアルトリム	42.60m 38.00m 37.00m 7.80m 4.10m 0.60m
登録線		数	325.67t
垂綫	屯	数	89.55t
型	屯	数	39.78m ²
イニシアルトリム	料	油	51.50m ³
総純燃	清	水	8.62m ³
清	脚	荷	近海乗組員 14 教官 4 生徒 48 計 66名 (沿海生徒数 94 計 112名)
定	定	定	

主機	関 阪神内燃機工業株 低速直接逆転ディーゼル 700PS × 400RPM × 1基	起工 昭和44年10月22日 進水 昭和45年1月13日 竣工 昭和45年3月14日 建造所 株式会社三保造船所
最航	大海上速力 (試運転) 12.03節	
航	速力 (試運転) 11.20節	
航	距離 約3,000浬	
發	電機 三相交流自励式225V × 60% × 100KVA × 2台 (125PS ディーゼル直結)	
操舵機	R-100G型 電動油圧式 1台	
	バウスラスター 電動推力 700kg 1台	
	航海コンソール	
	機関コンソール	
	グラフィックパネル装備	
	主機リモート及びシーケンス	
	ERC型遠隔操縦装置	
	軸馬力計 無接触方式	
	電磁ログ	
	E型遠隔インジケーター	
	F-1型インジケーター	

一、会費は年額一、〇〇〇円、新
名簿代金は五〇〇円。送金先
は鳥羽商船高専校内鳥羽商船
同窓会

517 鳥羽市池上町三丁目
電話(090)513-3239

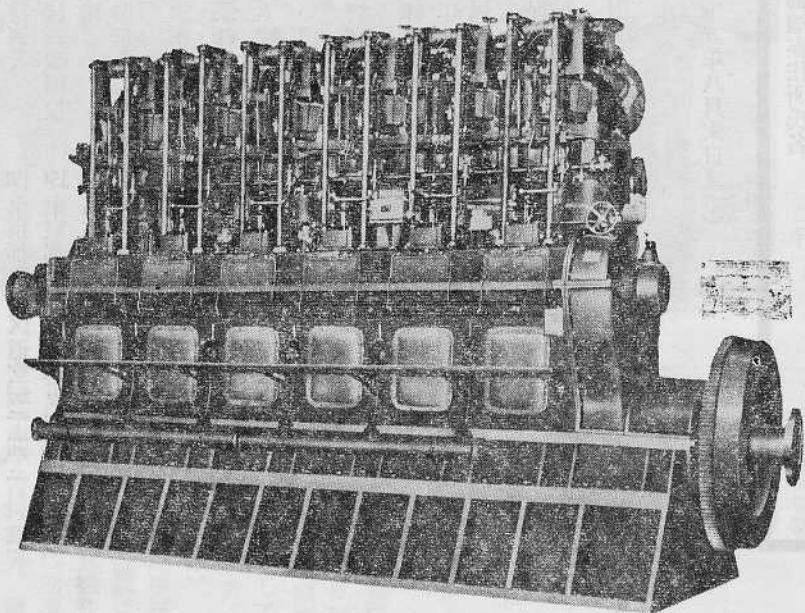
谷口英雄

祝鳥羽丸竣工

ハンシン ディーゼル

■ 船用ディーゼルエンジン 450~4,300PS

■ 阪神可変ピッチプロペラ 450~3,100PS機関用



船用 6 LU50形 3,600PS

小形・軽量・高出力
ハンシンU形シリーズ
高性能超高過給機関

6LU54形	4.300PS
6LU50形	3.600PS
6LU46形	3.100PS
6LUS38形	2.200PS
6LU38形	2.000PS
6LU35形	1.650PS
6LU32形	1.350PS
6LUS28形	1.200PS
6LU28形	1.050PS
6LUS24形	800PS

**阪神内燃機工業株式会社**

本社 神戸市長田区一番町3の1 TEL.(078)55-1531代
 支店 東京都千代田区丸ビル601 TEL.(03)216-3601代
 営業所 福岡市博多駅東1丁目1番33号

出張所 (はかた近代ビル) (092)41-5822
 下関・仙台・清水・札幌/工場 神戸・明石・玉津